



【特集】市民の皆さんと行政が

## 共にまちを考え、行動し、創っていく、市民協働のまちづくり

- 平成23年度の本市の基本方針と復興施策 ……………P3
- 平成23年度の本市の予算 ……………P6
- [シリーズ]3.11その時— 地域を救う自主防災会 ……………P8

エコエコ情報局"グリーンカーテンで節電!" …… P11

園児たちのギャラリー…………… P17

平成23年(2011)

6

月号

No.595

【地域の方に見守られながら、子どもたちは元気に前へと進む】

# 市民の皆さんと行政が共にまちを考え、行動し、創っていく、 市民協働のまちづくり——平成23年度の基本方針と復興施策、当初予算

## 少子化・人口減少の抑制が課題

合併から6年が過ぎた本市は、「協働」と「エコミュージアム」のまちを基本に、市民の誰もが住んでよかったと思える「快適空間」を目指して、まちづくりを進めてきました。

市ではこれまで、駅周辺整備、上・下水道、学校、道路、情報通信基盤などのインフラ整備を積極的に実施するとともに、少子化人口減少対策、交流人口の拡大、働く場の確保などについて取り組んできました。

しかし、人口の減少には歯止めがかからず、本年5月1日現在の人口は5万5742人で、合併当時より4805人、年間700人以上が減少しています。

人口減少により、地域の活力を失うといった深刻な事態も考えられます。これまでの事業を精査・検証し新たな取り組みを進めるなど、平成23年度についても少子化と人口減少の抑制に一層力を注ぐとともに、地域の元気づくり、協働によるまちづくりなどを進めていきます。



## 急務となった復興に向けた施策

一方、3月11日に東日本大震災が発生。市内の多くの建物が倒壊や損壊等の被害を受け、上下水道のライフラインや道路、学校施設などにも大きな被害がありました。

震災発生後、市では「常陸太田市東日本大震災被害対策支援制度」や「民間賃貸住宅入居者への家賃等助成」などにより、住宅に関する支援を実施。その他、保育園保育料・水道料金の減免や、臨時のゴミステーションを設置するなど、様々な被災者への支援を行ってきました。少しずつ日常は戻りつつありますが、まちの完全復旧までには、まだまだ時間を要します。平成23年度のまちづくりとともに、急務となった復興に向けた施策。

市民の皆さんが一日も早く、安全で安心な生活が送れるよう、市では、まちの災害復旧・復興を最優先に全力をあげて取り組んでいきます。



登録者の多い204人の男女合計26日現在  
結婚相談センター

**少** 子化・人口減少への対策は、本市の最重要課題です。結婚相談センター「YOU愛ネット」を中心に、結婚の推進に努めます。

また、定住化の促進として新築家庭賃助成に加え、市内に住宅を取得する子育て世帯等に、家屋にかかる固定資産税の1/2相当分を助成する定住促進助成金の交付を実施します。

# 輝く

## 人づくりを進めます

Human development shine



主要な施策を、総合計画前期基本計画の3つの基本方向「輝く人をつくる」「安らぎのある快適環境をつくる」「まちの元気をつくる」に基づいてご紹介します。また、震災からの復興施策についても併せてご紹介します。

### 平成23年度常陸太田市の基本方針・復興施策

## 教

育面では、理科支援員の小学校全校配置や教員の理科指導力に関する研修会を開催し、理科教育の充実を図る「未来を拓く常陸太田っ子サイエンスプロジェクト事業」を実施します。

また、今後も児童・生徒数

子育て支援については、子育て支援センターや子育て広場などの充実に加え、保育園・幼稚園の第3子以降児の保育料無料化、乳児のおむつ購入費助成、中学生までの医療費無料化を引き続き実施。子育て家庭応援情報誌「やまびきキッズ」の平成23年度版を発行して情報発信を行います。

の減少が見込まれる中で、学校の適正な規模を確保し、教育環境の質的充実を図るため、学校の統合を進めます。

小・中学13校の屋内運動場および幸久幼稚園園舎の耐震診断や、機初小・誉田小学校舎耐震化工事なども行います。

## 市

のイメージの発信、郷土愛の高揚、市民のさらなる一体感の醸成を図るため、市民が親しみを持って永く愛唱できる市の歌を制定します。

図書館では、開館時間延長日を拡大するとともに、日立市・高萩市・北茨城市及び福島県いわき市との広域相互利



市民みんなが参加する健康スポーツチャレンジデー

用を開始します。

日常的な運動で市民が健康に暮らせるよう、引き続き健康スポーツチャレンジデーに取り組み、国体関東ブロックソフトボール競技会の招致など、市の元気力の創造に努めます。

## 復興施策

Rehabilitation measures

小学校・中学校の校舎や体育館、幼稚園・保育園の園舎の補修について、安心して利用ができるように復旧に努めます。

また、交流センターふじや市民交流センターのホールなどの文化施設についても早期利用が可能となるよう復旧に努めます。



# 安

## らぎのある快適環境をつくります

Comfortable environment of peace

### 高

高齢者が多い本市では、高齢福祉の充実も重要です。高齢者の見守りネットワーク体制の構築、所得制限を撤廃して緊急通報装置を無償貸与、宅配買物代行サービスの見直しなどを行います。

地域活性化のための活動を支援するため、市民提案型まちづくり事業を起点として、市民活動保険や備品貸し出し、町会活動支援交付金の交付などを行います。

### 交

通面では、路線バスの運行維持や市民バス・予約型乗合タクシーの充実に努めます。路線バスについては、JR水郡線利用者の利便性に配慮した運行ダイヤの構築や利用促進を図り、通学距離の長い高校生のバス通学者に対して、定期券購入費の一部を助成していきます。

道路では、幹線道路である国道293号バイパス、国道461号水府里美間拡幅および木崎稲木線トンネルの供用

開始を、国や県と協力を図りながら推進します。

公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水戸別合併処理浄化槽については、地域に適した効率的な整備を進めます。

### ご

み処理については、現在の収集・処分方法を根本から見直し、市民の皆さんが分別しやすいシステムを進めます。

また、太陽光発電設備等設置補助を引き続き行い、市民環境会議の活動の充実など、環境施策の積極的な活動を展

### 防

犯・防災については、自警団や交通安全活動団体への市の安全パトロール車両の貸し出しや、町会を単位とする自主防災会の全町会への設立を推進するなど、地域防災体制の整備を図ります。

また、金砂地区へ消防出張所を設置し、救急救命体制の充実に努めます。

### 復興施策

Rehabilitation measures

損壊した道路や橋りょう、公営住宅施設、指定文化財観光施設、簡易水道や下水道、農業用の排水設備などの補修について、復旧に努めます。

大谷石や瓦、コンクリートブロックなど、臨時のゴミステーションに集められた廃棄物について、適切な処理に努めます。

冷房の調整やクールビズの強化により、公共施設の電力使用量削減に取り組み、削減した経費を復興費に充てます。また、家庭や事業所などに節電の協力を呼びかけていきます。

### 保

健・介護予防については、特定健康診査や各種のがん検診を推進し、身近な地域で「いきいきヘルス体操」の普及に努めます。

人間ドック、脳ドックの健康診査を受診する後期高齢者に対しては受診費用の一部を助成。また、子宮頸がんやインフルエンザ菌b型等の予防接種を促進します。



まちの玄関口、そして重要な交通機関として期待される新常陸太田駅



環境問題に重要なごみの分別



河内小での地域の見守り活動



# まちの元気をつくります

Energy of city



大勢の人でにぎわう朝市

**農** 畜産業は本市の主要産業です。農業活性化のため、付加価値の高い生産と生産コストの削減に向けた農業づくりに努め、農業従事者の所得向上や、県やJAなどと連携した農業生産の拡大と新たな農作物への取り組み、新規就農者への支援などを推進します。

地産地消を推進するため、朝市の開催や、地場産物のPR活動に努めるとともに、学校給食で本市産コシヒカリを使用した米粉パン給食を拡充



都心から若者も多く訪れる農業体験

し、地元産米の消費拡大と安心な給食の提供を進めます。

また、農業従事者の地域における自己防衛体制づくりと、鳥獣保護区内での駆除の実施、戸別所得補償制度の周知と利用拡大、地場産材の利用拡大と林業の振興を促進。口蹄疫や鳥インフルエンザなどの伝染病や感染症対策に努めるなど、畜産の振興を図ります。

**働** く場の確保も、まちの元気をつくるためには必要不可欠です。地域産業の活性化と雇用の場を確保する



ため、優良企業の誘致と立地企業のフォロワーアップを進めます。

本市の特産物のブランド化も積極的に進めると同時に、本市産農産物の生産拡大、品質向上および販路拡大に取り組み、市外の企業と連携した農商工連携等による新商品づくりに努めます。

**観** 光の面については、各種農業体験やワーキングホリデーを受け入れ、常陸太田ツーリズムを推進します。また、市独自の観光メニューとして情報発信を行うとともに、市観光物産協会との連携により「おもてなし」などの受入態勢を整備します。

里美地区で受け入れた「地域おこし協力隊」により、地域の元気づくりや地域力の維持・強化を図ります。

10月には巨樹・巨木をテ



エコミュージアム活動を通じた上深荻大菅町の取り組み

マとする第24回巨木を語ろう全国フォーラム茨城・常陸太田大会と指定文化財の集中公開を開催し、本市の豊かな自然と観光資源を全国へ発信していきます。

エコミュージアム活動の推進により、魅力ある自然や歴史・文化などの多種多様な地域資源を活かし、地域が主体となつて活動する市民協働による元気なまちづくりを支援していきます。

## 復興施策

Rehabilitation measures

まつり・イベント等については、経費をできる限り最小限にして内容を工夫しながら、まちの元気が出るように開催していきます。

次の事業については先送りし、予算を復興費に充てます。

複合型交流拠点施設の基本設計や用地購入、造成工事等のハード事業

旧金砂小学校の改修整備

(受入組織の活動、体験プログラムメニュー等の計画づくりは継続実施)

竜神大吊橋等塗装改修

原発事故の放射能問題については、迅速・的確な情報の収集および提供に努めます。また、農産物や観光施設等への風評被害対策も行います。



# 一般会計は1.5%減の

## 231億400万円

### 震災復興のための費用27億2721万円を補正

予算は1年間の収入と支出の計画であり、市政がどのような形で行われるか、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われ、効果が還元されるかを表したものと云えます。

市の予算は大きく分けて、「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに分かれていて、財政の明確化を図っています。

#### 【歳入】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といいます。

#### 自主財源

市が自主的に収入することができる財源のことで、市税、繰入金、使用料および手数料などがあります。

市税：市民の皆さんに納めていただく税金です。

繰入金：基金（貯金）の取り崩しや他の会計から繰り入れるお金です。

#### 依存財源

国や県の政策により、使途や金額が定められるお金です。

地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定のサービスが行えるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として納められた財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再配分するものです。普通交付税と特別交付税があります。

#### 【目的別歳出】

地方公共団体が行う事業を行政目的別に分類したもので、行政サービスの比重や特色などを知ることができます。

民生費：生活保護や障害者、高齢者、子育て支援、医療費助成などに要する経費です。

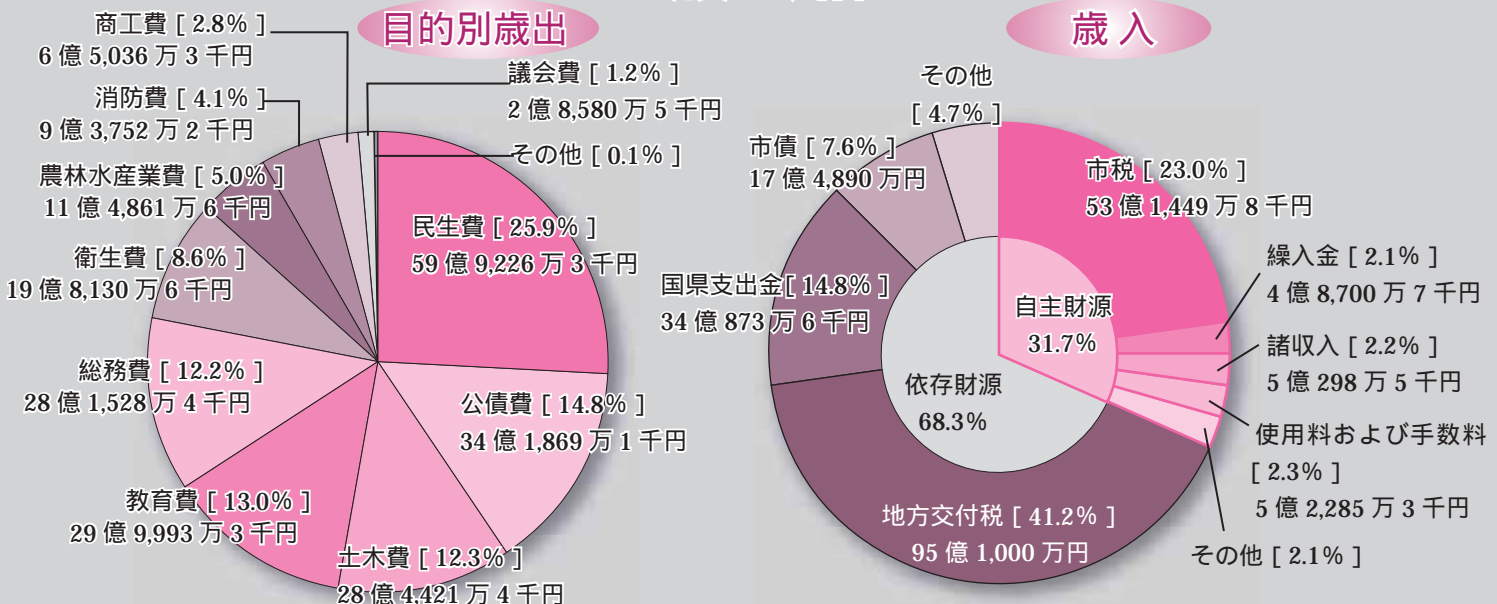
公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費です。

土木費：道路や河川、公園など社会資本整備のための経費です。

教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費です。

総務費：行政全般の事務などに関する経費です。

## 一般会計



平成 23 年度当初予算

会計区分		平成 23 年度予算額	平成 22 年度予算額	増減額	増減率	
一般会計		231 億 400 万円	234 億 5,100 万円	▲ 3 億 4,700 万円	▲ 1.5%	
特別会計	国民健康保険	58 億 3,444 万 6 千円	57 億 9,180 万 9 千円	4,263 万 7 千円	0.7%	
	老人保健		438 万 4 千円	▲ 438 万 4 千円	皆減	
	後期高齢者医療	5 億 9,331 万 2 千円	5 億 9,091 万 8 千円	239 万 4 千円	0.4%	
	介護保険	45 億 5,620 万 1 千円	46 億 1,077 万 6 千円	▲ 5,457 万 5 千円	▲ 1.2%	
	下水道事業	14 億 9,294 万 7 千円	17 億 3,587 万円	▲ 2 億 4,292 万 3 千円	▲ 14.0%	
	農業集落排水事業	3 億 7,661 万 4 千円	8 億 3,353 万 3 千円	▲ 4 億 5,691 万 9 千円	▲ 54.8%	
	戸別合併処理浄化槽設置整備事業	1 億 7,022 万 6 千円	1 億 6,607 万 4 千円	415 万 2 千円	2.5%	
	簡易水道事業	3 億 2,374 万 7 千円	3 億 1,734 万 3 千円	640 万 4 千円	2.0%	
	宅地分譲事業		161 万 5 千円	▲ 161 万 5 千円	皆減	
	小計	133 億 4,749 万 3 千円	140 億 5,232 万 2 千円	▲ 7 億 482 万 9 千円	▲ 5.0%	
企業会計	水道事業会計	収益的支出	11 億 1,403 万 4 千円	11 億 816 万 9 千円	586 万 5 千円	0.5%
		資本的支出	8 億 9,405 万 2 千円	9 億 8,801 万 3 千円	▲ 9,396 万 1 千円	▲ 9.5%
	工業用水道事業会計	収益的支出	7,539 万 6 千円	8,277 万 2 千円	▲ 737 万 6 千円	▲ 8.9%
		資本的支出	4,292 万 1 千円	4,235 万 7 千円	56 万 4 千円	1.3%
	小計	21 億 2,640 万 3 千円	22 億 2,131 万 1 千円	▲ 9,490 万 8 千円	▲ 4.3%	
合計		385 億 7,789 万 6 千円	397 億 2,463 万 3 千円	▲ 11 億 4,673 万 7 千円	▲ 2.9%	

【性質別歳出】

地方公共団体の経費を性質を基準として分類したもので、義務的・投資的・その他の経費に区分され、財政の健全性や弾力性をみるポイントとなります。

**義務的経費**  
人件費：議員報酬、職員給与などです。  
扶助費：社会保障制度の一環として、生活保護や高齢者、児童、障害者などに対して行う支援のための経費です。  
公債費：市の借金などを償還するための経費です。

**投資的経費**  
普通建設事業費：公共施設の新増設に伴う経費です。

**その他の経費**  
物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費です。  
繰出金：他の会計を支援するための経費です。  
補助費等：市から他の団体などに対して行政上の目的から支払う経費です。報償費（謝礼等）、役務費（保険料等）、負担金・補助金および交付金（助成金等）などが該当します。  
積立金：財政運営を計画的に行うため積み立てる経費です。

**衛生費**：ごみ処理、環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。  
**農林水産業費**：農林業振興に要する経費です。  
**消防費**：消防・防災のための経費です。  
**商工費**：商工業や観光の振興のための経費です。  
**議会費**：議会運営のための経費です。

平成 23 年度一般会計補正予算

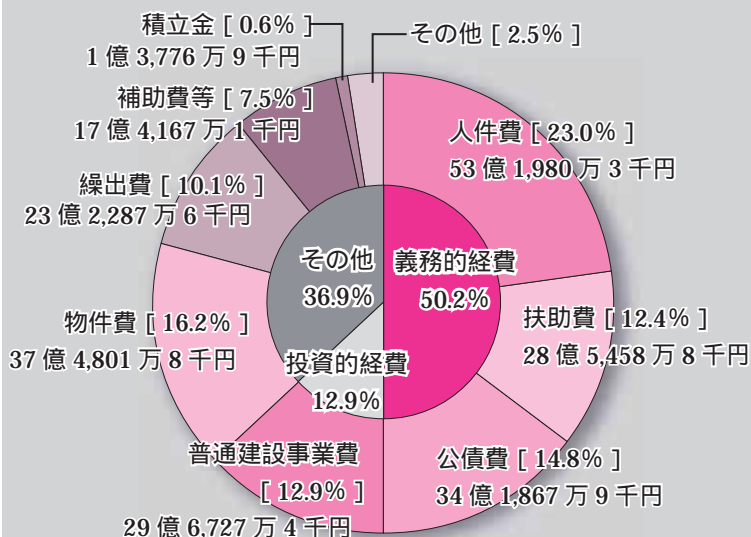
東日本大震災による復興対策のため、専決処分により補正予算を計上しました。

名称	補正額	補正後
災害復旧費	19 億 913 万 1 千円	19 億 913 万 3 千円
民生費	7 億 1,754 万 4 千円	67 億 980 万 7 千円
土木費	5,117 万円	28 億 9,538 万 4 千円
農林水産業費	2,592 万円	11 億 7,453 万 6 千円
消防費	2,226 万 4 千円	9 億 5,978 万 6 千円
衛生費	118 万 7 千円	19 億 8,249 万 3 千円
合計	27 億 2,721 万 6 千円	258 億 3,121 万 6 千円

\* 補正後の合計は補正しない費目の予算額も含む

【主な事業】東日本大震災被害対策費（支援金・見舞金）、道路橋りょう災害復旧事業、小・中・幼施設災害復旧事業、被災地ごみ処理事業、農業災害復旧事業など

性質別歳出



# 地域を救う自主防災会

市内各町会で整備されている自主防災会。東日本大震災の発生後、その自主防災会が主体となって、地域住民が互いに助け合う光景が、各地で見られました。その中で、東染町自主防災会をご紹介します。



東染町自主防災会長の栗原茂東染町会長(左)と、菊池三男副町会長

## 40分後に避難所を開設

3月11日、豊かな自然に囲まれた東染町の東染林業センターに避難所が開設されたのは、午後2時46分に大きな地震が起こってから約40分後のことでした。

町会役員が東染林業センターに集結した後、町内5地区の班長が各班ごとに住民の安否、被災状況の確認に直行。住宅の倒壊の恐れがある方や一人暮らしの高齢者など、班長の誘導により27人が避難しました。

避難所では各自が自宅にある食材や毛布を持ち寄って一晩を過ごし、翌日から炊き出しを行い、独居の老人の方などにおにぎりを届けました。

「自主防災会の発足後、初めての避難。避難所に保管していた発電機、懐中電灯などの資機材も今回初めて使いました。まだ余震が何度も続いていたため、みんなで集まり、助け合い励ましたこと、不安の解消につながったと思います」と栗原茂町会長は話します。



東染町自主防災会の防災計画と避難計画書

## 各種台帳を完備

東染町では1年間をかけて防災計画・避難計画書を整備し、昨年の平成22年の2月に自主防災会を発足。市の補助を受けて資機材も整備しました。

同会では、防災マップを製作した他、がけ崩れの恐れがあるなどの住宅を調査した「警戒住居等カード」、本人や家族の同意を得て作られた「要援護者情報カード」、栄養士や看護師、元消防団・警察官、大型免許所持者などが記載された「資格・技能等人材カード」、避難所への「班別避難経路図」を配備しているのが特徴。

「いざというときの備えがあり、初期の活動が迅速にできたことが大きかった。幸いにもこの地域の水道が止まったのは1日で助かりましたが、井戸水など自家水がある家を調査し、台帳を整備していきたい」と栗原町会長は、今後の課題を話してくれました。東染町自主防災会は今回の避難・連絡体制の結果を踏まえ、反省点を改善しながら、非常時に備え更なる万全の体制を整えていく予定です。



町内5班に分かれて調査・作製された防災マップ

## 各地で自主防災会が発足

地震などの災害が発生した際、迅速で効率的な活動を行うため、平成22年度に次の地区で自主防災会が発足しました。

- 菅田地区 12町会
- 佐竹地区 5町会
- 郡戸地区 5町会
- 天下野地区 6町会
- 高倉地区 4町会



佐竹地区の合同発会式の様子。同様に各地区でも発会式が行われた

災害発生時、消防や警察などが到着するまでの間、初期段階において救護活動、初期消火活動などを自主的に活動することができれば、被害を最小限に食い止め、大きな役割を果たすこととなります。

市第5次総合計画で災害に強いまちづくりを目指している本市内では現在、124町会のうち101町会で自主防災会が設立されています。市では自主防災会の育成強化や未設置となっている23町会について、今年度中の設置に向けて支援をしていきます。



今回の震災で崩れた塀の撤去作業に取り組む内田町中自主防災会



# 温かいご支援、ありがとうございます。



東日本大震災が起きてから、被災した方々への支援に役立ててほしいと、市民の皆様をはじめ全国各地からたくさんの方の義援金や支援物資が寄せられました。心から感謝を申し上げます。

皆様の温かいお気持ちを大切にしながら、引き続きまちの復興に努めてまいります。

**義援金** 太田小学校（昭和21年卒業）同窓会昭珀会 5万円 / 渡部康男（天神林町）1千円 / アメニティエンジニアリング 2万401円  
匿名の方7件 63万5千円  
（5月12日～23日受入分 順不同、敬称略）

**義援金累計**  
2千260万1954円

**支援物資** リストランテ 勘十郎 / 自由民主党本部

## 生活関連情報

（5月31日火午前9時現在の市の状況をお知らせします）

### 公共・観光施設の状況

金砂郷支所は、金砂郷保健センター（76-2111 こどもセンター北側）へ移転しました。  
バルティホール大ホール、梅津会館会議室、郷土資料館分館、交流センターふじ、山吹運動公園市民体育館、プラトーさとみは利用できません。

### 道路の状況

#### 通行止め箇所の復旧見込み時期

里川橋（国道293号）...6月末 幸久橋（旧国道349号）...未定（余震の沈静化後に点検予定） 機初橋・栄橋付近（県道日立笠間線）...6月末 棚谷町地内（県道常陸太田那須烏山線）...7月以降  
\*市道の陥没やひび割れなどを発見した場合は、建設課（内線209）または金砂郷産業建設課（76-2117）、水府産業建設課（85-1116）、里美産業建設課（82-2768）までご連絡ください。

### 原子力関係

**放射線測定数値** 福島第一原子力発電所の事故による、常陸太田市を含む県内の放射線測定の数値は、現在のところ健康に影響のあるレベルではありません。測定値は県のホームページで随時確認することができます（測定ポイントは磯部町、真弓町、大里町）。

**水道水の検査結果**（5月31日火現在）市の水道水は、現在のところすべて安全です。

**農畜産物等の状況** お知らせ版6月10日号をご覧ください。

### 幼稚園・保育園

#### 幼稚園・保育園保育料および放課後児童クラブ利用料金を減免します

**対象** 今回の震災により、住宅が半壊以上の損害を受けた方

**減免内容** 住宅全壊・大規模半壊は6カ月分の保育料および利用料金を全額免除 / 住宅半壊は6カ月分の保育料および利用料金を半額免除 \*幼稚園は公立のみ対象。保育園保育料については、所得が著しく減少となった方の減免もありますので、詳細はお問い合わせください。

**必要書類等** 減免申請書、り災証明書の写真

☎問幼稚園保育料 教育総務課（内線561）

保育園保育料および放課後児童クラブ 子ども福祉課（内線146）

## 節電にご協力をお願いします

現在、震災によって電力の大幅な供給不足が想定されており、電力需給のバランスが極めて厳しい状況にあります。特に、これから夏の時期を迎え、冷房などの消費電力が激しくなることから、より一層の節電が求められてきます。

市では、冷房の調節（設定温度29に設定）や、クールビズの強化（5～10月の期間は清涼な軽装）、照明の消灯などを行うことで、公共施設の昨年の夏の最大電力使用量の**20%を削減**します。市民の皆さんも**15%削減を目指して**、ご家庭や職場で節電へのご協力をよろしくお願いたします。

### 電気使用量を削減する工夫



エアコンは設定温度を1上げることで**10%削減**！



冷蔵庫は強度を「強」から「中」に変更すると平均で**11%削減**！



パソコンを一時的に使用しないときは、モニター電源オフではなく、スタンバイ機能を使用すると、デスクトップは**15%**、ノートは**9%**削減！

## 常陸太田市シルバーリハビリ体操指導士会の設立

5月9日、常陸太田市シルバーリハビリ体操指導士会の設立総会が、総合福祉会館で開かれました。

同会は、体操を通して、介護予防の促進や高齢者の健康づくり推進に取り組んでいく団体で、市内で活動するシルバーリハビリ体操指導士の3団体が今回一本化されたものです。会長には根本孝行さんが就任し、支部は5つ。会員は180人で、その内1級指導士が4人、3級が176人います。



規約の制定や役員を選出などが行われた設立総会

同会は、地域での体操教室での指導、市主催のいきいき健康運動教室やリハビリ教室への協力や、県立健康プラザ管理者で県立医療大名誉教授の大田仁史さんが考案した、シルバーリハビリ体操の普及に努めます。

## 環境と放射線（能）についての講演会

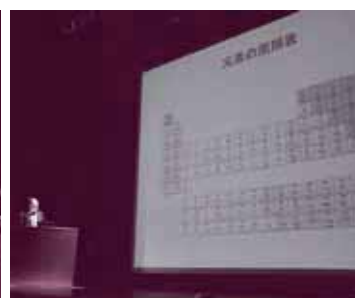
5月19日、「環境と放射線（能） 原子力災害とその影響」と題した講演会が生涯学習センターで開催されました。

講演会は、常陸太田青年会議所が主催したもので、講師に、海洋生物環境研究所の渡部輝久研究参与を迎え、放射線の基礎知識や被ばくの状態、人体への影響など、詳しい説明がありました。

放射能問題は、今最大の心配事ということもあり、参加者は皆熱心に耳を傾けていました。



映像等を用いて、放射能についての詳しい説明をする渡部研究参与



## 豊後国二孝女顕彰会が設立

江戸時代、巡礼の旅の途中病に倒れた父を心配して、豊後の国（現在の大分県）から青蓮寺（東蓮寺町）まで約1200キロを訪ね歩いて迎えに来た姉妹の実話を後世に伝えようと、顕彰会の設立総会が同寺で開かれました。

この実話は資料に基づき調

査を重ね、6年前に突き止められたばかりのもので、父を思う娘の強い意志が、再会を実現させたという感動の物語です。

二孝女顕彰会の櫻井正美会長はあいさつで「親孝行の史実を、ここから広めていきたい」と、この会の設立と今後

の活動に意欲を見せました。

同会では大分県臼杵市の郷土歴史グループと研修などを通じて交流を深め、パンフレットを作成して広く伝える活動も計画しています。



昨年10月16日に除幕式が行われた豊後国二孝女の顕彰碑



青蓮寺で開催された設立総会の様子

# グリーンカーテンで節電！



グリーンカーテンとは？

アサガオやゴーヤなど、つる性の植物を使って作る自然のカーテンです。窓から入り込む日差しをさえぎってくれるだけでなく見た目にも涼しげです。

効果 グリーンカーテンを設置すると、**約3 室内温度**が下がるといわれています。葉の蒸散作用で涼しい風が流れ込むだけでなく、建物の外側にカーテンを作ること、建物自体が熱をもつことをやわらげる効果も期待できます。

それにより**電気代の節約、消費電力の抑制、地球温暖化防止**になります。

作り方とおすすめ植物

プランターに苗を植える。つるがのびてきたらネットに這わせるように巻きつける。

ネットは上部を軒下などに止め具で取り付ける。下部はくいやブロックなどに結んで固定する。

アサガオ、ゴーヤのほか、ヘチマやヒヨウタン、フウセンカズラなどのつる性植物が適しており、葉が大きいもののほうが遮光効果があります。

グリーンカーテンの成長過程や、花や実のなる様子を観察するなど、家庭や職場、学校などで楽しみながらチャレンジしてみませんか！

## プログラム概要

10月29日土

- 巨樹・巨木の会総会（9：30～）
- 一般見学可
- 体験コーナーまつぼっくりのお人形さんづくり（10：00～12：00）
- フォーラム1部（13：30～）
- フォーラム2部（15：20～）
- 竜馬ミニコンサート
- パネルディスカッション
- アトラクション・各県団体発表交流会（17：30～）
- 巨樹関係写真展（9：30～16：00 予定）

10月30日日  
 巨樹めぐりツアー

来月は巨樹めぐりツアーのコースを紹介するじゃ



森の精「うっじい」

ひたちおおたの

# 巨木

## 第24回巨木を語ろう全国フォーラムのプログラム紹介

10月29日土・30日日にパルティホールで開催される「第24回巨木を語ろう全国フォーラム 茨城・常陸太田大会」は、環境の指標としての巨木を育み保護する心と、今後の課題への対応に寄与するために行われる全国大会じゃ。

茨城県は巨樹数で全国2位であり、巨樹の多様性等からみて巨樹王国といえるぞ。

本市にも天然記念物の巨樹が多くあり、本フォーラムは、全国から訪れる方に本市の豊かな自然をPRする絶好の機会じゃのう。

今月は、あと4カ月あまりと迫ったフォーラムのプログラム概要を紹介するじゃ。

## 天神林町のお宝に案内板を設置



5月21日、佐竹寺をはじめ多くの史跡に恵まれた天神林町（小林啓徳町会長）で、地域住民7人が参加して、町内の猪手・協和地区内のお宝（地域資源）への案内板を設置しました。

案内板には、甲子供養塔や如意輪念仏石像、巡礼坂など町内のお宝までの距離や方角などが記されています。今回設置した5カ所で、天神林町内では全25カ所に案内板が設置されたことになり、今後更なる地域資源の利活用が期待されます。

## 里山に咲き誇る赤土町の花



5月中旬、赤土町の自然豊かな景観の中で、真っ赤な絨毯を広がったようにクリムソクローバーの花が満開になりました。この花は、「常陸秋そばの郷まもりたい」（海老根信夫代表）が約50アールの耕作放棄地に、ソバ栽培の地力回復のため緑肥として植えたもので、クリムソクローバーを「赤土町の花」として育て、耕作放棄地の再生や里山の景観保全に役立てようとするものです。

クリムソクローバーの畑は5月22日にソバ栽培に向けて耕され、秋には真っ白なそばの花が一面に広がります。

## 棚谷町の新しいお宝を発見！



元気な地域づくりのために、お宝マップ・将来構想づくりに取り組んでいる棚谷町（平山義光町会長）で、4月に新たなお宝が見つかりました。地域の方のお宅の裏側に立つ木から、咲くこともない桜が咲いていたのです。

地域の方に話を伺うと「おそらく野鳥が桜の実を運んできたからではないか」とのこと。何気なく見過ごしていた景色も、お宝探しを通じて更なる地域資源を見つけようとする思いが、今回の「小さな桜」につながったもの。

3月の東日本大震災により、棚谷町は大きな被害を受け、いまだに道路が寸断されている所もありますが、この小さな春の訪れが地域の方々を元気づけ、地域の宝として大切にされていくことでしょう。

## ちょっと寄り道

今月は白羽町

### 松倉山清水寺（観音堂）



も我々の疲れ治してくれる」と言っていて喜んだそうです。

その後、元禄5年（1692）に水戸義公（徳川光圀公）により松倉山大聖院清水寺が建立されました。境内北側には光圀公が清水を手ですくって飲まれたという「水のみ場」があり、その記念碑が建っています。

観音堂本尊は千手観音であり、天台宗大聖院があった場所で、江戸時代には水戸藩三十三観音の一つに選ばれ、多くの参拝者で賑わったと伝えられています。今でも地蔵や観音が数多く見られ、その歴史を物語っています。

白羽町の天志良波神社の東にある松倉山中腹に観音堂があり、毎月17日を供養の日として、班ごとの交代で堂内を掃き清め、町内の安全・繁栄を祈っています。

清水寺の名前の由来は今から約1200年前、坂上田村麻呂が奥州征伐の途中で里川の堤から松倉の山々を眺めた際に、「京都の東山に似ている。清水まで

来月は白羽町の「わ」つながりで、和久町さんをお願いします。



紹介者  
 白羽町 渡邊 一雄 さん

# 健康スポーツだより



今月の市民健康スポーツデーは

**6月29日水です**

個人、家族、グループなどで取り組み楽しんで身体を動かしましょう！

## 私のスポーツ・運動による健康法紹介

水平足踏みで健康

山崎 直文さん

(76歳・亀作町)

私は毎晩「水平足踏み」を行っています。現役の頃は山登りをしていて足腰には自信がありました。が、定年を過ぎてケガや病気を患ってしまいました。健康の大切さを思い知りました。

そこで「健康は足から」ということもあり、足腰を鍛える運動をやるうと考えました。ただ、家内の介護があり、ウォーキングなどの屋外に長



水平足踏みをする山崎さん

時間出での運動が難しかったため、自宅で気軽にできるこの「水平足踏み」を健康雑誌で見つけ実践し始めました。

継続が苦手な私でも、この運動に取り組んでから6年間毎日行うことができており、今では1日に年齢の約2倍である150回(300歩分)の足踏みをしています。

水平足踏みを始めから、

この年になっても人並み以上だと自負できる程の筋肉がつき、腰痛や肩こりもなくなりました。

また、私独自の工夫として100円ショップなどで売っている足つばマットの上で行い、足つばマッサージの効果も得られるようにしました。

現在元気に生きていられるのは、この水平足踏み運動のおかげだと思っています。

### 【水平足踏みとは?】

背筋を伸ばし、太ももを地面と水平になるまであげて足踏みをする運動。道具も場所も要らず、少しの時間で筋力・持久力アップの他にも腰痛予防や脂肪燃焼効果なども期待できる。

山崎さんによると、「これからやってみようという方は、最初バランスをとるのが難しいので物につかまってやること、少ない回数から始めることがポイント」だということです。

## 大勢の市民が参加した健康スポーツチャレンジデー

健康スポーツチャレンジデーは、運動習慣づくりの定着化のためのイベントです。1日15分以上運動・スポーツを行うことで、健康な生活を目指しましょう。

5月25日に行われた今年のチャレンジデーは、山吹運動公園市民体育館が震災の影響で使用できないため、屋外中心の活動となりました。山吹運動公園グラウンドではウォーキング体験教室や親子ニュースポーツ教室が行われました。

ウォーキング体験教室では、鯨ヶ丘スポーツクラブの大森さんが講師となり、正しい靴の履き方や正しい歩き方などを体験者に教えました。「正しく歩くためには、自分の歩数や歩幅を知ることが大切。正しく歩くと疲れず長く歩くとができ、健康にもつながります」と話していました。



園児たちの体操



ウォーキング体験教室



グラウンドゴルフ



フライングディスク

参加率は **30.1%**  
(17,669人が参加)

問 スポーツ振興課スポーツ振興係(山吹運動公園市民体育館内)

73 0090 / FAX 73 1230 月曜・祝日は休

## 久慈の杜100km徒歩の旅

### チャレンジする小学生



# 募集!

久慈の杜100km徒歩の旅は、小学生がボランティアスタッフのサポートにより、常陸太田市・常陸大宮市・大子町の3市町、100kmの道のりを、4泊5日をかけて自分の足で歩きぬく体験型青少年育成事業です。

この試練を自分の力で乗り越えることで、何事もやればできるといふ強い精神力が宿ることでしょう。

**対象者** 小学4～6年生  
(50人予定)

**参加費** 2万3千円(三度笠、記念Tシャツ、記録ビデオ、保険、事業行程中の食事代など)

**申込方法** 市内各小学校で配布される応募用紙に必要な事項を記入し、申し込んでください。

**申込期限** 6月24日金

**問** 常陸太田青年会議所  
「久慈の杜100km徒歩の旅」団長 稲田昌孝  
090 4731 5797  
m-inada@h2.dion.ne.jp



## 震災に関連したトラブルに注意

### 【相談事例】

新聞のチラシで見つけた業者に、震災で壊れた住宅の修理を依頼した。見積書には、修理代金50万円だと書いてあった。しかし、施工後70万円の請求書が届き、「思った以上に修理の部分が多かったため金額が上がった」と説明された。請求されたとおりに支払わなければならないか?

### 【アドバイス】

高額な代金を請求された場合には、業者に請求内容の明細の提示を求めてください。契約した覚えのない施工については支払い義務がないと考えられます。

業者の説明をそのまま信じ



てその場で契約しないことが重要です。必ず複数の業者から見積もりをとり、十分検討した上で契約してください。

強引な勧誘を受けても、急いで契約をしないようにしましょう。既に契約してしまった場合でも、訪問販売であれば、契約書をもらってから8日間はクーリング・オフができます。強引な勧誘を受けた場合には、契約の取消しができる場合がありますので相談してください。

### 【その他の相談事例】

インターネット通販で購入した放射線測定器が届かない。業者に連絡がつかず、ホームページ上も休止になっている。

古物商を名乗る業者から、「被災地の医療器具に使う金・銀が不足しているため、ネックレスなどの貴金属アクセサリ類を買い取りたい」と電話があった。

問市消費生活センター

(70) 1322

## パーティホールロビーコンサート 小さな音楽会 2011

市民の皆さんに気軽に音楽芸術に触れていただくため、休日の午後のひとときに入場無料のロビーコンサートを開催いたします。

平成23年度は8回の開催を予定しています。心に響く美しい演奏をお楽しみください。

パーティホールは音楽活動をしている皆さんを応援しています。出演者の募集も行っていますので、詳しくはパーティホールまでお問い合わせください。

とき 7月10日日 午後0時40分～

内容 第1回「クラリネットと弦楽の豊かな調べ」  
演奏予定曲：モーツァルト クラリネット五重奏ほか

出演者 アンサンブルクローバー 黒沢文博（クラリネット）、川又輝美（チェロ）、林明（ヴィオラ）、川又くみこ（ヴァイオリン）、川又明日香（ヴァイオリン）

問パーティホール（73-1234）

### 毎月第3日曜日は家庭の日

平成22年度常陸太田市家庭の日推進募集標語 優良賞

あたたかいホカホカご飯と みんなの笑顔

[小学生の部] 太田小6年 海老原 弥南  
(受賞時)

## 行政相談委員の皆さんを ご紹介します

行政相談委員は、行政サービスについての苦情や行政の手続きに関する相談を受け、助言や関係機関に連絡し解決を図る仕事をしています。

相談の受付は、委員の担当地区ごとに行いますが、日時や場所については「ひたちおたお知らせ版」でお知らせします。

なお、総務省茨城行政評価事務所（水戸市北見町1-11-029-221-3347）でも相談を行っていますのでご利用ください。相談は無料で、秘密は厳守します。



常陸太田地区  
大谷利行氏  
73 0333



金砂郷地区  
和田政一氏  
76 3312



水府地区  
川上悦代氏  
85 1022



里美地区  
石井俊司氏  
82 2856

## 消防職員の定期人事異動

(4月1日付 カッコ内は旧)

課長級 消防課長 袴塚孝一（北消防署長）/  
南消防署長 大畠辰夫（消防課長）/  
北消防署長 福田智光（南消防署副署長）

## 編集部員のつ・ぶ・や・き



こんにちは、「広報かかりちょ」です。今月号より、広報紙を読んでいたいただいている市民の皆さんとの距離を縮めたいと思い、このコーナーをスタートしました。広報紙編集の舞台ウラなど書いていきたいと思えます。広報担当2年目を迎え、皆さんに手にとって読んでもらえる広報を目指し努力しておりますが、日々伝えることの難しさを実感しております。

イベントで広報の腕章をつけて人ごみをかき分け「前の太ってるやつ邪魔だ」と言われながら写真を撮っている人を見かけましたら、ぜひお声をかけてください。

## 三世代が田植えを通じて交流

真夏のような気温と見事に晴れ渡った空に恵まれた5月21日、大方町（多賀谷謙豊町会長）で、三世代交流事業田植体験が行われました。

この催しは、老人会（仲田博会長）が中心となって子供会、大友会の方々と一緒に田植えを通じて交流を深めようというもので、今年で2回目。大方町地内の休耕田の一部を利用し、子どもと大人が一緒になって苗を植えていきました。

今後は、秋に収穫祭を開催するなど交流事業を行っていく予定です。



## 地域資源を形として残すために

松栄町下新地にある春日神社は、3月11日の地震により損害を受け、本殿や拝殿が崩れかかっています。そのため、地域の歴史資源をなんとか形として残しておきたいと、地域で復興委員会（島根武明会長）を組織。地域の少子高齢化により、約30年近く社の拝殿に保管されたままの神輿を、民俗資料としていったん市に寄託することにしました。

5月16日に担ぎ出された神輿は、市文化課の協力を得て旧法務局に運ばれました。復興委員会では今後神社の復興に取り組んでいきます。



## 心癒される美しい花々

久米町の嶋根輝子さんのお宅では、毎年咲き誇る鉢植えのクンシランが、今年も4月下旬に見事な花を咲かせました。また増井町の本多技研さんのお宅では、5月中旬に藤の花が一面に咲き誇り、道行く人たちを楽しませました。

震災の中でも、美しい花々は元気に花を咲かせ、人々を勇気づけているようです。



嶋根さんの庭先で咲き誇るクンシラン。市内はもとより、市外の方も見物に訪れることがあるという



本多さんのお宅の藤の花。爽やかな薄紫色が、澄み渡った青空の下で涼しげな雰囲気をかもし出している

## 希望の光へ、薬谷町のホタル

4月17日～29日、薬谷町会（鈴木馨町会長）では、休耕田に看板や柵を整備し、ホタルの里づくりを行いました。また、5月8日には子供会、老人会が一緒になって、たくさんの花の苗を植えました。今後は町内の老人会や子供会などが協力して、除草などの環境整備を行っていく予定です。

「小さなホタルの光が、大きな希望の光になるように…」ホタルが飛び交う季節を、地域の住民みんなが心待ちにしています。



## 早稲田塾の学生が田植え



今年も5月15日に西河内中町の水田に東京や神奈川の「早稲田塾」から、大勢の学生たちが集まり、田植えを行いました。

田植えは、同塾の人材育成プログラムの一環として行われているもので、

参加した学生たちは、地元住民のサポート会による指導を受けながら、交流を深めました。

今年新たに参加した高校生たちは、「田んぼの泥の感触が何とも言えず新鮮です」「意外と重労働で腰が痛いです」「田んぼの中でバランスを保つのが難しい」と言いながら夢中で苗を植えていました。





がんばります

Akiyama Keiichi

秋山 敬一 さん(玉造町)

常磐線と水戸線の電車の運転士をしています。就職してすぐに運転士として働いた訳ではなく、駅員や車掌を経験した後に運転士試験を受けて、昨年12月に晴れて運転士になることができました。

運転士になることは小学生のときからの夢で、当時、水郡線の職場見学で列車に乗ったときに「カッコイイ!」と思ったことがきっかけでした。正確な時間に運行できるよう時間管理と自分の体調管理

は特に注意しています。普通列車の運転で2時間半位の乗務になるときは、トイレに行きたくなることを考慮し、事前の飲食物にはとても気を使っています。

無事に到着駅についてお客様さまが降りていく姿を見るとホッとすると同時に、これだけ多くの人を乗せてきたという達成感で溢れます。

また列車の運転中、線路沿いで親に連れられたお子さんが列車に向かって手を振ってくれたとき、自分が運転士に



がんばってる若者 募集中!

- 対象 市内で働いている若者  
市外で働いている若者(市民に限ります)
- 問 情報政策課広報広聴係(内線 303・304)

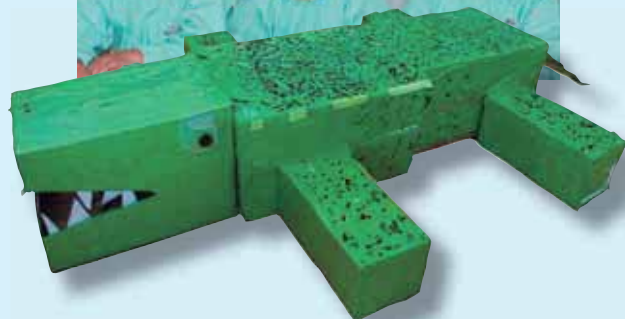
園児たちの  
ギャラリー

今月から市内各幼稚園・保育園の園児たちの様々な作品を掲載していきます。今月は「太田進徳幼稚園」です。

ワニ

つばめぐみ  
はしもと しん くん(6才)

かもめぐみ  
いなべ たくま くん(5才) つばめぐみ  
かじやま そう くん(5才)



「お遊戯室のはしごの橋の下にワニがいたらすごいいよね」と、3人で作りました。ガムテープの上に模様をつけるところと歯が難しかったけど、うまくできてよかったです。はやく、みんなで遊んでみたいなあ。

四葉のクローバー



真ん中に折り紙で作った四葉のクローバーをはった、春の絵です。回りに花やてんとう虫の絵を描くのがたいへんでした。

かもめぐみ  
こもり ゆうか ちゃん(5才) 将来の夢は、おかあさんになりたいです。

# のんびり歩こう♪ ひたちおおたてくでくウォーク ①

今月から、市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

## 常陸太田市ふるさとの森（増井町：瑞竜霊園・ときわ路周辺）



増井町の瑞竜霊園の駐車場から西に少し下ると広場に出ます。近くに水洗のトイレも水道もあり、歩きやすい遊歩道が整備され、ゆっくりと自然探索が楽しめます。

平成20年度から県が導入した森林湖沼環境税を活用した身近なみどり整備推進事業により整備され、住民の皆さんの提案により周辺の森林をきれいにしたり、自然活動体験の場となっています。

また、遊歩道の他に初心者用から上級者用までビックリするほど多彩なMTB（マウンテンバイク）のコースが整備され、全国規模の大会が年2回開かれ、市外から大勢の方が訪れています。マウンテンバイク好きな方にもおススメです。途中ときわ路と自然休養村管理センターを過ぎた辺りで、ちょっと寄り道をすると正宗寺で佐々助三郎の墓などを見ることができます。ベンチも要所要所に設置してあり、疲れたときに休息をとることができます。

表紙によせて 5月21日に大方町で開催された「三世代交流事業田植体験」の1コマです。ぬかるんだ水田に恐る恐る足を踏み入れる子どもたちを、地域の方々みんなで見守っています。（関連記事を16ページのまちの話題に掲載）

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690  
72-3111（内線303・304）Fax72-3002

\* 広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます  
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています